

第3学年 算数科学習指導案

令和5年6月26日（月）5校時
1組 22名 指導者 税所 崇

1 単元名 たし算とひき算 （学校図書3年上）

2 目標

3位数や4位数の加法及び減法計算のしかたや、加法や減法の計算が2位数などの基本的な計算をもとにできることなどを理解し、3位数や4位数の加法及び減法の計算が筆算でできる。また、計算の確かめができる。 【知識・技能】

(2位数) ± (2位数) の計算のしかたをもとに類推するなどして、3位数や4位数の加法及び減法の計算のしかたを考える力を養う。 【思考・判断・表現力】

3位数や4位数の加法及び減法の計算のしかたを、既習事項を活用して考えようとする態度を養う。 【学びに向かう力、人間性等】

3 指導上の立場

(1) 研究主題との関連

今年度「自分なりの考えを持ち、友達と伝え合ったり協力して解決したりできる児童の育成を目指して」を研修主題として、研究に取り組んでいる。

児童一人ひとりが学習に対して問いを持ち、それを解決するために自分に合った方法で考えたり、友達の考えをヒントに考えを広げたり深めたりできるようにしていきたい。

そこで、本単元では、次のような点に留意して指導していきたい。

【つかむ・見通す】過程

- 前時の学習や振り返りと比べることにより、既習事項と未習事項をはっきりとさせ、めあてを考えることができるようにする。

【調べる】過程

- 前時までの学習（ノートや振り返り）を活用して、計算の仕方を順序だてて説明できるようにする。
- 「まず」「次に」「そして」「最後に」「わけ（理由）などのキーワードカードを掲示することにより、筋道や根拠を意識して説明させる。
- 自力解決の際、自分の考えを整理したり相手に分かりやすく伝えたりするために図や言葉、式などを関連付けて考えるようにする。

【深める】過程

- 「アイアイカード」を活用しながらグループ活動を進める。
- 自力解決したことをグループや全体で交流する中で、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 自分の考えを表現したり、友だちの考えを認めたりすることで、互いのよさに気づかせるようにする。
- 発表を聞いて共通点や相違点に気付いたり、感想を伝えたりできるようにする。

【まとめる・生かす】過程

- 既習の学びと共通点を見付けたり、計算しやすい数に変えていているという考え方に着目したりしながらまとめることができるようにする。さらに、
- 適用問題などに取り組むことで、数理的処理のよさや友達の考え方のよさを実感を伴って味わうことができるようにする。
- 振り返りの時間を設ける。
 - ・振り返りの視点を与えておく。

例：はかせどん 友達との交流で気付いたこと わがとも

4 本時のねらい (2位数) + (1, 2位数) などの簡単な暗算が自分に合った方法で計算できる。

5 本時の実際 (12 / 15)

過程	主な学習活動	時間	教師の具体的な働きかけ 【○留意点 ◇評価 ☆視点】
つかむ・見通す	1 問題【35 + 46】を提示し、めあてを立てる。 35 円のガムと 46 円のチョコレートを買いました。合わせていくらになるでしょう。	5	☆ 前時の学習についてノートや振り返りで確かめる。 ○ 問題場面を提示して、筆算を使わずに答えを求めることの必要性をつかませる。 ○ 児童の発言を活かしながら学習問題を立てる。
	2 学習問題を確かめる。 どのように計算をすればかんたんにできるだろう。 〈方法〉 ・数をわけたらよさそう ・きりのいい数でかんがえたらいいかも ・位ごとに考えてみよう		
調べる・深める	3 学習の流れを確認する。	10	○ これまでの学習を活かして、工夫して計算することを確認める。 ・足される数、足す数を分けて考える。 ・きりのいい数で考える。 ○ 学習の流れをいつでも確認できるように黒板に掲示しておく。
	4 計算方法を考える。 (1) 1人学習 ① $30 + 40 = 70$ $5 + 6 = 11$ $70 + 11 = 81$ ② 35 を 40, 46 を 50 にする。 $40 + 50 = 90$ $5 + 4 = 9$ $90 - 9 = 81$ ③ $35 + 40 = 75$ $75 + 6 = 81$		
まとめる・生かす	(2) グループ学習	10	☆ 計算方法をノートに書き出し、考えを整理させる。 ◇ 被加数や加数をどのように考えて計算をしたか、自分の言葉で説明できているか。 ○ 一つの考えがまとまったら、ほかの方法でも考えられないか助言する。
	(3) 全体で確認 ・グループごとに発表をする。	5	○ 考えた考えを共有することが目的であることをおさえる。 ○ それぞれの考えの共通点と相違点を考えるようにさせる。
	5 本時の学習について確認する。 ・計算しやすい数になおして計算する。 ・位ごとに分けて計算する。	7	○ 出てきた解き方の共通する部分に着目させながらまとめていく。
	6 適応問題をする。 $68 + 29$	3	☆ 本時の学習を活かして、自分に合った計算方法で答えを求めさせる。 ○ どのように考えたかペアでお互いに発表させる。
	7 練習問題をする。 ① $18 + 6$ ② $46 + 37$	5	○ 机間指導をしながら、個別に指導を行う。 ☆ 本時の学習で、気付いたことや学んだことを振り返らせる。
	8 本時の振り返りをする。		
	9 次時の学習を確認する。		○ 次時は、ひき算をすることを伝える。

6 評価 (2位数) + (1, 2位数) などの簡単な暗算が自分に合った方法で計算できた。

ガム 35 円 グミ 18 円
ゼリー 29 円 あめ 6 円
チョコレート 46 円
ビスケット 68 円

35 円のガムと 46 円のチョコレートを
買いました。合わせていくらになるでしょう。

式 $35 + 46$

学習の進め方
1 人調べ 分まで
グループ 分まで
全体
練習問題

どのように計算すればかんたんに
できるだろう。

児童の考え

児童の考え

児童の考え

児童の考え

児童の考え

児童の考え

式 $68 + 29$

- ・ 計算しやすい数になおして計算する。
- ・ 位ごとに分けて計算する。

- ① $18 + 6$
② $46 + 37$